

**人手不足解消や感染症対策を見据えた「介護のデジタル化」を支援  
ICT とロボット活用による業務効率化&売上向上 WEB セミナー**  
**7月29日（水）～8月4日（火）、ロジックと凸版印刷が共同開催**

IC タグを活用したスマートな介護記録サービス「Care-wing（介護の翼）」を提供する株式会社ロジック（本社：石川県金沢市、代表取締役 CEO：和田森 久志、以下 ロジック）と、シート型生体センサーで睡眠状態をリアルタイムに解析できる「Sensing Wave® 介護見守りシステム」を提供する凸版印刷株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：麿 秀晴、以下 凸版印刷）は『ICT とロボット活用による業務効率化&売上向上 WEB セミナー』を、7月29日（水）から8月4日（火）に共同開催いたします。



近年、人手不足の深刻化や生産性向上への期待から、介護業界においても ICT やロボットに対する関心が高まっています。また、新型コロナウイルス感染予防の観点からも、接触を避け、感染リスクを回避できる ICT やロボットの活用が求められています。さらに、政府が取りまとめる「骨太の方針 2020」においても、「介護のデジタル化」がひとつの柱として盛り込まれており、ICT やロボットが今後ますます普及していくことが予想されます。

こうしたなか、本セミナーでは、ロボットを活用した業務効率化や、ICT を活用して売上を向上させる方法について、複数人の睡眠状態や入床・離床の見える化を実現する凸版印刷の「Sensing Wave® 介護見守りシステム」、ならびに介護記録のペーパーレス化を実現するロジックの「Care-wing（介護の翼）」の導入事例も交えてお伝えいたします。コロナ禍でも生産性向上や売上げアップを目指す事業者のみなさまのご参加をお待ちしております。

**【ICT とロボット活用による業務効率化&売上向上 WEB セミナー 講演内容】**

**第1部：介護ロボットを活用した業務効率化について**

「介護ロボットって、スタッフが使いこなせるか不安」「専門的な知識やスキルが必要なのでは」こうした声にお応えして、具体的な導入事例をもとに、介護ロボットを使った見守り業務効率化の方法を詳しく解説します。

（講師：凸版印刷株式会社 まちづくり本部 立山 大樹）

**第2部：ICT を活用した売上アップの方法について**

「介護のデジタル化」が特定事業所加算取得につながる理由や、ICT を活用し業務負担を軽減しながら売上アップを実現する方法を、具体的な導入事例をもとにお伝えします。

（講師：株式会社ロジック 東日本営業部 荒木 健太）

## 【ICT とロボット活用による業務効率化&売上向上 WEB セミナー 概要】

開催日時	<input type="checkbox"/> 7/29 (水) <input type="checkbox"/> 7/30 (木) <input type="checkbox"/> 7/31 (金) <input type="checkbox"/> 8/1 (土) <input type="checkbox"/> 8/2 (日) <input type="checkbox"/> 8/3 (月) <input type="checkbox"/> 8/4 (火) 動画視聴可能時間：8:00～20:00 (各日) ※ご希望日の動画視聴時間内でセミナーを視聴することができます。 ※視聴可能時間を過ぎますと視聴できなくなりますのでご注意ください。 ※ご希望日は一日のみとさせていただきますのでご了承ください。
所要時間	約 60 分
定員	各回 30 名
参加費	無料
対象	訪問介護併設のサ高住・住宅型有料老人ホームの経営者、施設長など
共催	株式会社ロジック、凸版印刷株式会社
お申し込み方法	下記 URL より必要事項をご記入のうえ、お申込みをお願いいたします。 <a href="https://ws.formzu.net/fgen/S18184732/">https://ws.formzu.net/fgen/S18184732/</a> ご記入いただいたメールアドレスに、開催日の 2 営業日前を目処に参加用 URL をお送りしますので、時間になりましたらアクセスをお願いいたします。
登壇者	<第 1 部：介護ロボットを活用した業務効率化について> 凸版印刷株式会社 まちづくり本部 立山 大樹 <第 2 部：ICT を活用した売上アップの方法について> 株式会社ロジック 東日本営業部 荒木 健太

### <凸版印刷について>

社 名：凸版印刷株式会社

本社所在地：東京都千代田区神田和泉町 1 番地

代 表 者：代表取締役社長 磨 秀晴

資 本 金：104,986 (百万円) (2020 年 3 月末現在)

事業内容：トッパンは、「印刷テクノロジー」をベースに「情報コミュニケーション事業分野」、「生活・産業事業分野」および「エレクトロニクス事業分野」の 3 分野にわたり幅広い事業活動を展開しています。

### <「Sensing Wave® 介護見守りシステム」について>

「介護現場の負担を減らし、社会課題の解決に貢献したい」という想いで開発、2018 年 4 月より販売を開始した見守り介護サービスで、介護用ロボットとして使用されています。本体をマットレス下に敷き、電源を入れるだけで誰でも簡単に設置できます。取得したデータはクラウドサーバーで管理され、PC・タブレット・スマートフォン等の端末から簡単に利用者の状態が確認できます。専用端末不要、施設外からのデータ閲覧可で、セキュリティも安心です。利用者の睡眠状態が可視化できるため、巡視の負荷軽減や夜間の転倒事故リスク低減等様々な課題に対して活用できます。また、利用者ごとに設定可能なアラート機能を活用することで、忙しい現場スタッフも異常に気付くことができます。販売開始以降、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、有料老人ホームと多くのお客様にご利用いただき、①現場スタッフの業務負荷軽減②施設のコスト削減③利用者の安眠確保の「3方良し」のシステムという評価を受けています。



<ロジックについて>

1995年4月、石川県金沢市にて創業。建築向けCADを主幹事業としながら、2010年に介護業界に参入。スマートフォンとICタグ(NFC)を利用した業界初の介護記録SaaSアプリ「Care-wing(介護の翼)」を発売し、デジタル機器に不慣れなヘルパーさんでも使える基幹業務アプリとして注目を集めました。2019年には、新たな事業領域への挑戦が評価され、「EYアントレプレナー・オブ・ジャパン 2019」において、東海北陸地区 Accelerating 部門アントレプレナー賞を受賞。また、グローバル・ブレイン6号投資事業有限責任組合(運営:グローバル・ブレイン株式会社)などを引受先として、2015年に5,000万円、2017年に1.5億円の第三者割当増資を実施しています。<https://logic-is.co.jp/>

<「Care-wing(介護の翼)」について>

地元金沢の介護事業者から「ヘルパーさんが使えるシステムを作りたい」と依頼を受けて開発。始業時や訪問先でのログイン時はICタグにかざすのみで、IDやパスワード入力が必要のため、普段スマホを使用しない方も簡単に使うことができます。また、サービスの開始・終了時刻は自動で入力され、介護ケアの記録は選択式の項目にチェックを入れるだけで完了。申し送りや特記事項は定型文や音声入力を使えば、文字の打ち込みも不要です。さらには、スマホで入力した介護記録から自動的に実施記録を作成するため、請求ソフトへの取り込みも簡単。ICタグによるセキュリティで介護記録(伝票)への捺印も不要です。ヘルパー・サービス提供責任者双方の業務負担を軽減できる点を評価いただき、訪問介護向けサービスは、2019年度で1,500事業所、サービス利用者(介護職員、看護師)約42,000人、訪問介護利用者約13万人にご利用いただいています。昨今は、ヘルパーの方が事業所に出向くことなく訪問先で業務を完結できる特性を踏まえて、介護のテレワークを実現するサービスとしてもお役に立てています。

<https://care-wing.jp/>

